

『*medicina*』 第 50 巻 総目次

2013 年 第 1 号～第 13 号

(数字は頁数, () は号数を示す.)
(11 号 (増刊号) は 10 頁以降に掲載.)

【特集】

■ 進化し続ける内科診療—世界が認めたブレイクスルー

〈座談会〉

いま, 内科医に求められるものとは

……………藤田 芳郎・八重樫牧人・
鈴木 孝幸・志水 太郎 10(1)

〈呼吸器〉

喘息・COPD……………三嶋 理晃・星野 勇馬 22(1)

肺炎……………北原 光夫 30(1)

〈循環器〉

虚血性心疾患……………山口 徹 38(1)

高血圧—降圧薬治療の変遷……………萩原 俊男 46(1)

心不全……………篠山 重威 52(1)

〈消化器〉

消化性潰瘍……………浅香 正博 58(1)

慢性ウイルス性肝炎(B 型, C 型)—その起承転結

……………小俣 政男 64(1)

炎症性腸疾患……………朝倉 均 72(1)

〈腎臓〉

慢性腎不全

……………両角 國男・稲熊 大城・武田 朝美 78(1)

〈神経〉

脳卒中—画像診断と血栓溶解療法

……………内山真一郎 86(1)

Parkinson 病……………祖父江 元 93(1)

〈血液〉

白血病—CML 治療に革命をもたらした

TKI(イマチニブ)……………朝長万左男 102(1)

〈代謝・内分泌〉

糖尿病—薬剤・治療目標・評価法

……………渥美 義仁 110(1)

脂質異常症……………木下 誠・林 洋 116(1)

〈リウマチ〉

関節リウマチ……………上野 征夫 122(1)

〈感染症〉

結核……………倉島 篤行 128(1)

HIV 感染症—診療の変遷と強力な多剤併用療法

……………青木 真 134(1)

〈診断学〉

内科診断学……………野口 善令 140(1)

■ 大きく変貌した脳梗塞の診断と治療

〈座談会〉

脳梗塞の診断・治療をめぐる近年の動向について

……………木村 和美・岡田 靖・
井口 保之・藤井 修一 188(2)

歩いて来る脳卒中急性期患者と TIA の対応

……………木村 和美・岡田 靖・
井口 保之・藤井 修一 323(2)

〈初期対応〉

一般医家(研修医も含む)の初期対応はいかにあるべきか……………藤井 修一 196(2)

脳卒中専門医の初期対応はいかにあるべきか

……………山上 宏 200(2)

院内発症の対応—対応が遅れないようにするには

……………上野 祐司・卜部 貴夫 206(2)

〈診断〉

TNA(一過性神経発作)と TIA はいかに対応すべきか……………長谷川泰弘 210(2)

身体所見のポイント

……………森 興太・湧川 佳幸・岡田 靖 214(2)

よくみられる神経症候と見落としてはいけない神経所見

……………橋本洋一郎・伊藤 康幸・山本 文夫 218(2)

CT と MRI 所見のポイント……………佐々木真理 222(2)

なくてはならない超音波検査……………寺澤 由佳 227(2)

脳血管造影は必須検査か?

……………山田 文弘・今井 啓輔 232(2)

治療戦略を決めるうえでの SPECT の役割

……………平野 照之 236(2)

バイオマーカー—いかに活用するか

……………芝崎 謙作・木村 和美 242(2)

〈病型ごとの治療〉

ラクナ梗塞とアテローム血栓性梗塞

……………山本 康正 246(2)

心原性脳塞栓症……………星野 岳郎・内山真一郎 252(2)

脳動脈解離と大動脈原性脳塞栓症

……………田中 弘二・豊田 一則 256(2)

奇異性塞栓症……………井口 保之・木村 和美 262(2)

その他特殊な脳梗塞

……及川 博隆・寺山 靖夫 266(2)

〈急性期治療〉

いかに治療を早く開始するか

……賣豆紀智美・藤本 茂 270(2)

rt-PA の功罪—適応と禁忌, また限界について

……金子淳太郎・西山 和利 276(2)

血管内治療と外科治療の役割

……坂井 信幸・藤堂 謙一 282(2)

脳保護薬とその他の薬剤……阿部 康二 290(2)

循環・呼吸管理・睡眠呼吸障害の管理

……鈴木 圭輔・竹川 英宏・平田 幸一 294(2)

早期リハビリテーションと栄養管理の役割

……渡邊 進 298(2)

〈慢性期治療(2次予防)〉

病診連携のあり方……目時 典文 304(2)

リスク管理の重要性……棚橋 紀夫 308(2)

抗凝固薬と抗血小板薬は, どう使い分けるか

……矢坂 正弘 312(2)

外科治療の適応……里見淳一郎・永廣 信治 316(2)

■ 免疫反応と疾患

〈座談会〉

免疫反応をいかに理解し合理的に治療するか—現状と将来……山本 一彦・宮坂 信之・中島 裕史・清野 宏 372(3)

〈臨床に必要な免疫の基礎知識〉

自然免疫とは……柴田 琢磨・三宅 健介 384(3)

獲得免疫とは……鐔田 武志 390(3)

粘膜免疫とは……本田 賢也 394(3)

サイトカイン・ケモカイン

……大辻 幹哉・寺島 裕也・松島 綱治 398(3)

種々の T 細胞サブセット……藤尾 圭志 402(3)

〈免疫が関与する病態と免疫応答〉

感染と免疫……城内 直・石井 健 406(3)

腫瘍と免疫……河上 裕 412(3)

移植と免疫

……工藤 浩也・和田はるか・清野研一郎 416(3)

〈自己免疫疾患・炎症性疾患の免疫異常〉

関節リウマチ……小竹 茂・山中 寿 420(3)

全身性エリテマトーデス……高崎 芳成 424(3)

多発性筋炎・皮膚筋炎……上阪 等 428(3)

血管炎症候群……天野 宏一 434(3)

Sjögren 症候群……住田 孝之 440(3)

炎症性腸疾患……大島 茂・渡辺 守 446(3)

原発性胆汁性肝硬変と自己免疫性肝炎

……桶谷 眞・井戸 章雄・坪内 博仁 450(3)

多発性硬化症……渡邊 充・吉良 潤一 454(3)

自己炎症疾患

……川上 純・右田 清志・井田 弘明 458(3)

IgG4 関連疾患

……高橋 裕樹・山本 元久・篠村 恭久 464(3)

〈アレルギー疾患と免疫異常〉

気管支喘息……土肥 眞 468(3)

アトピー性皮膚炎……佐伯 秀久 474(3)

アレルギー性鼻炎・花粉症

……櫻井 大樹・岡本 美孝 478(3)

〈免疫不全における免疫異常〉

先天性免疫不全症候群……森尾 友宏 484(3)

後天性免疫不全症候群(AIDS)

……中村 朋文・満屋 裕明 490(3)

〈免疫学的な治療法〉

副腎皮質ステロイド

……大島 久二・牛窪 真理・久田 治美 494(3)

免疫抑制剤……奥 健志・渥美 達也 500(3)

サイトカインを標的とした生物学的製剤

……亀田 秀人・竹内 勤 504(3)

細胞表面抗原を標的とした生物学的製剤

……田中 良哉 508(3)

■ エマージェンシーの予兆を察知する—リスクを評価し危機に備える

〈座談会〉

危機の予兆とリスク評価

……野口 善令・徳田 安春・清田 雅智・吉藤 歩 576(4)

〈総論：リスクという概念を理解する〉

リスクとは何か……野口 善令 588(4)

〈バイタルサインから緊急性を読みとる〉

喘ぎ呼吸—心肺停止の前兆……入江聰五郎 592(4)

頻呼吸—重症化の最初の徴候……徳田 安春 596(4)

キケンな低血圧, キケンでない低血圧

……中野 弘康・須藤 博 600(4)

頻脈・徐脈—キケンな脈拍異常

……渡邊 力也・川島 篤志 604(4)

〈症候に潜むリスクを評価する〉

胸痛……小田 浩之 608(4)

腹痛……田中 和豊 614(4)

めまい……船越 拓・志賀 隆 618(4)

失神……谷口 洋貴 622(4)

しびれ—生命・機能予後のうえで重篤な病態を見逃さないために……木村 琢磨 626(4)

皮疹……中村 猛彦 630(4)

〈リスクの組み合わせから隠れた危険を察知する〉

脾摘後+発熱……清田 雅智 635(4)

咽頭痛+流涎+発熱……山本 舜悟 638(4)

皮膚腫脹発赤+疼痛+発熱—絶対に見逃したくない!

壊死性筋膜炎……小淵 岳恒・林 寛之 642(4)

担癌患者+腰背部痛

……蓮尾 隆博・山中 克郎 648(4)

リスクの高い心疾患と不整脈の組み合わせ	猪原 拓・香坂 俊	654(4)
〈予期しない検査異常(パニック値)に対応する〉		
血球減少・白血球減少, 貧血, 血小板減少	岡田 定	658(4)
酸塩基平衡異常	金城紀与史	662(4)
高Ca血症・低Ca血症	東 光久	666(4)
血液培養陽性	大野 博司	672(4)
〈疾患名に潜むリスクを評価する〉		
TIA	許 智栄・許 勝栄	676(4)
市中肺炎	岡 晶子・柳 秀高	680(4)
胆管炎		
……横江 正道・桐山 勢生・高田 忠敬		686(4)
消化管出血	小林 健二	692(4)
外傷	河野 慶一・今 明秀	696(4)
〈リスクとコミュニケーション〉		
リスクをめぐるコミュニケーション	岩田健太郎	700(4)
危険なコミュニケーション—そのコミュニケーション		
ン, 態度がトラブルをまねく	岩田 充永	704(4)

■ 胃食道逆流症(GERD)—“胸やけ”を診療する

〈座談会〉

日本人の GERD はなぜ治療しなければならないのか?
その必要があるか?

……鈴木 秀和・内藤 裕二・
藤原 靖弘・佐藤 祐一 760(5)

〈疫学と病態〉

日本人の酸分泌および酸関連疾患, Barrett 食道の
変遷

……伊藤 公訓・田中 信治・茶山 一彰 770(5)

GERD/Barrett 食道の疫学

……宮本 真樹・春間 賢 774(5)

胃食道逆流と食道知覚過敏の機序

……岩切 勝彦・川見 典之・坂本 長逸 777(5)

〈診断〉

GERD の診断基準(モントリオール定義など)

……飯島 克則・小池 智幸・下瀬川 徹 782(5)

逆流性食道炎, Barrett 食道, Barrett 食道腺癌の内
視鏡診断

……天野 祐二 785(5)

GERD 関連食道疾患の病理診断

……向所 賢一 790(5)

プライマリケアにおける GERD 診療・症状スケール
の活用による診療

……石原 慎一 793(5)

〈食道外症状〉

GERD と慢性咳嗽・喘息・COPD

……新実 彰男 798(5)

GERD と睡眠障害/閉塞性睡眠時無呼吸症候群

……藤原 靖弘・平本 慶子・荒川 哲男 803(5)

GERD と咽喉頭症状……曾根三千彦 807(5)

GERD と歯牙酸蝕……関根 浄治 810(5)

〈鑑別が必要な疾患〉

好酸球性食道炎……古田 賢司・木下 芳一 816(5)

食道アカラシア/びまん性食道痙攣/ナットクラッカー
食道

……星野 真人・小村 伸朗・柏木 秀幸 821(5)

〈注目すべき背景疾患〉

GERD と骨粗鬆症に伴う脆弱性骨折による亀背,

それによる食道裂孔ヘルニアとの関連

……茂木 文孝・草野 元康 824(5)

薬剤による GERD 症状とその対策—Ca 拮抗薬, 亜硝酸
薬など

……大島 忠之・渡 二郎・三輪 洋人 828(5)

GERD とメタボリックシンドローム(NASH・糖尿病)

……佐々木 悠・阿部 靖彦・上野 義之 832(5)

〈GERD に関連する疾患〉

機能性胸やけ・Rome III 分類について

……正岡 建洋・鈴木 秀和・日比 紀文 836(5)

非心臓性胸痛(non-cardiac chest pain: NCCP)

……藤野 雅史・安田 聡 840(5)

GERD と *H. pylori* 除菌……西澤 俊宏 844(5)

NSAIDs 起因性 GERD

……塩谷 昭子・眞部 紀明・春間 賢 848(5)

機能性ディスペプシアと GERD の症状の特徴・重複

……春日井邦夫 851(5)

〈GERD の治療〉

GERD の治療薬……佐藤 祐一 856(5)

生活習慣・食習慣改善による GERD 対策

……鎌田 和浩・内藤 裕二 859(5)

GERD の外科治療……小澤 壯治 862(5)

GERD の内視鏡的治療

……時岡 聡・梅垣 英次・樋口 和秀 867(5)

Barrett 食道腺癌の内視鏡的治療

……松井 啓・矢作 直久 873(5)

■ 最新の動脈硬化診療—どう診断し, どう治療するか?

〈座談会〉

動脈硬化診療を語る

……代田 浩之・及川 眞一・
江草 玄士・池脇 克則 940(6)

〈動脈硬化の発生メカニズムを再考する〉

リポ蛋白と炎症……荒井 秀典 950(6)

急性冠症候群の病理

……畠山 金太・浅田祐士郎 954(6)

〈病歴・身体所見・検査の進め方〉

動脈硬化を意識した病歴のとり方

……小竹 英俊 958(6)

動脈硬化を意識した身体所見のとり方

.....ス波真理子	962(6)
動脈硬化を意識した検査の進め方	
.....江草 玄士	968(6)
〈診断法：血液生化学検査〉	
一般脂質から何を考えるか	
.....周東 佑樹・長尾 元嗣・及川 眞一	972(6)
アポ蛋白とリポ蛋白分画	
.....藏野 信・木下 誠	978(6)
レムナントと食後高脂血症, small dense LDL	
.....木庭 新治・平野 勉	982(6)
炎症マーカー：CRP と PTX3.....井上 健司	986(6)
アディポカイン.....平田 歩・下村伊一郎	990(6)
dysfunctional HDL	
.....小松 知広・佐々木 誠・池脇 克則	996(6)
〈画像診断と機能検査の位置づけ〉	
頸動脈超音波.....三田 智也	1000(6)
内皮機能検査.....東 幸仁	1004(6)
動脈弾性能検査	
.....清水 一寛・柴 友明・白井 厚治	1008(6)
冠動脈 CT.....山本 秀也・木原 康樹	1014(6)
〈予防と治療の進め方〉	
動脈硬化性疾患予防ガイドラインの位置づけ	
.....寺本 民生	1020(6)
生活習慣への介入	
.....木庭 新治・佐々木 淳	1024(6)
高 LDL-C 血症の治療.....大村 寛敏	1028(6)
高トリグリセライド(TG)血症の治療	
.....衛藤 雅昭・服部 由香・斉藤美恵子	1035(6)
低 HDL-C 血症への対策	
.....高田 耕平・今泉 聡・朔 啓二郎	1040(6)
新しい脂質異常症治療薬—エゼチミブ, EPA・DHA 製剤.....山下 静也	1046(6)
動脈硬化を意識した降圧療法	
.....伊東 範尚・楽木 宏実	1056(6)
動脈硬化を意識した糖尿病治療	
.....太田 明雄・田中 逸	1062(6)
抗血小板薬.....堀内 久徳	1066(6)
LDL アフェレーシス	
.....川尻 剛照・多田 隼人・山岸 正和	1072(6)
〈血行再建術の適応と実際〉	
内膜剥離術(CEA)と頸動脈ステント留置術(CAS)	
.....大石 英則・徳川 城治	1076(6)
経皮的冠動脈形成術(PCI)と冠動脈バイパス術 (CABG).....古川 裕	1080(6)
血管内治療とバイパス術.....小田代敬太	1084(6)

■ “実践的” 抗菌薬の使い方—その本質を理解する (座談会)

抗菌薬の添付文書と PK-PD のギャップ・本来あるべき抗菌薬の適正な使用

.....細川 直登・本郷 偉元・岡 秀昭・小田倉弘典	1138(7)
-----------------------------	---------

〈Editorial〉

添付文書だけでなく、サンフォードだけでもない抗菌薬の使い方.....細川 直登 1150(7)
 〈総論：薬剤同士の“同じ部分＝類似性”をまとめてその特徴を理解する〉

【対象微生物でまとめる】

グラム陽性菌用の薬剤.....大路 剛	1154(7)
グラム陰性菌用の薬剤.....山本 舜悟	1160(7)
抗嫌気性菌薬.....北菌 英隆	1166(7)
抗緑膿菌薬.....笹野 幹雄・林 淑朗	1170(7)
抗 MRSA 薬.....中村 権一	1175(7)

【抗菌薬の構造でまとめる】

β ラクタム系薬	
.....丹羽 一貴・有馬 丈洋・本郷 偉元	1180(7)
フルオロキノロン系薬	
.....洪江 寧・岡 秀昭	1186(7)
アミノグリコシド系薬.....矢野 晴美	1189(7)
マクロライド系薬.....齋藤 昭彦	1192(7)

【投与経路でまとめる】

経口抗菌薬の使い方.....大野 博司	1196(7)
〈各論：薬剤同士の“違い＝個性”を理解して実践的な使い分けを習得する〉	
ペニシリン G とアンピシリン.....土井 朝子	1200(7)
アンピシリン・スルバクタムとピペラシリン・タゾバクタム.....山口 征啓	1204(7)
セファゾリンとオキサシリン/ナフシリン	
.....岩渕千太郎	1208(7)
セフォチアムとセフォタキシム/セフトリアキソン	
.....朽谷健太郎	1212(7)
セフトラジウムとセフェピム.....馳 亮太	1216(7)
メロベネムとイミベネム・シラスタチンとドリベネム	
.....久保 健児	1220(7)
シプロフロキサシンとレボフロキサシンとモキシフロキサシン.....岸田 直樹	1226(7)
ゲンタマイシンとトブラマイシンとアミカシン	
.....山本 舜悟	1232(7)
バンコマイシンとテイコプラニン	
.....上原 由紀	1236(7)
ドキシサイクリンとミノサイクリン	
.....戒田 雅	1240(7)
リネゾリドとダブトマイシン.....笠原 敬	1246(7)
アジスロマイシン.....皿谷 健	1250(7)
クリンダマイシン.....竹下 望	1255(7)
メトロニダゾール.....倉井 華子	1258(7)
ST 合剤.....藤田 崇宏	1262(7)

■ 今日から役立つ高血圧診療のノウハウ (座談会)

改訂ガイドラインへの期待

……………土橋 卓也・川崎 純也・
楽木 宏実・菊尾 七臣 1322(8)

〈高血圧の現状を知る〉

わが国における高血圧の現状

……永井 雅人・大久保孝義・三浦 克之 1334(8)

高血圧と合併リスクの変遷……二宮 利治 1338(8)

降圧治療の現状……神保 りか・下澤 達雄 1342(8)

〈実地診療で評価すべき血圧、臓器障害の指標〉

24時間自由行動下血圧測定(ABPM)の適応と評価法

……………佐藤 倫広・大久保孝義 1347(8)

家庭血圧……………江口 和男 1351(8)

中心血圧測定方法……………富山 博史 1356(8)

高血圧性臓器障害のバイオマーカー

……………檜垣 実男・大蔵 隆文 1361(8)

〈二次性高血圧をどうスクリーニングするか?〉

原発性アルドステロン症の診断と治療—診療ガイドラインと注意点

……成瀬 光栄・難波 多挙・立木 美香 1367(8)

腎血管性高血圧……小井手裕一・梅村 敏 1371(8)

薬剤誘発性高血圧……………松浦 秀夫 1376(8)

睡眠時無呼吸症候群と高血圧の関係

……………吉村 力・安藤 眞一 1380(8)

〈生活習慣修正指導のノウハウ〉

減塩……………有田 幹雄・内川友起子 1383(8)

パターン食(チャンプルースタディ)

……………又吉哲太郎・大屋 祐輔 1388(8)

栄養指導の実際……………高木 洋子 1394(8)

運動療法……………高橋 敦彦・久代登志男 1400(8)

〈降圧治療のノウハウ〉

各種降圧薬の特徴と適応、使用上の注意

……………植田真一郎 1406(8)

第一選択薬の決め方

……石光 俊彦・後藤 依里・菅原 里恵 1418(8)

併用療法の手順……佐藤 伸之・長谷部直幸 1423(8)

配合剤を有効利用する……………松村 潔 1428(8)

治療抵抗性高血圧への対応……河野 雄平 1432(8)

〈合併症を有する高血圧への対応—何を使ってどこまで下げるか?〉

高齢者高血圧……………大石 充 1436(8)

糖尿病合併高血圧……………浦 信行 1440(8)

慢性腎臓病(CKD)

……柏原 直樹・桑原 篤憲・藤本 壮八 1445(8)

高尿酸血症合併高血圧

……浜田 紀宏・谷口 晋一・久留 一郎 1450(8)

妊娠高血圧症候群

……………岩間 憲之・目時 弘仁 1455(8)

〈新しい高血圧治療〉

腎神経アブレーションの長期降圧効果

……熊谷 裕生・大島 直紀・武智 華子 1462(8)

ワクチン療法……中神 啓徳・森下 竜一 1466(8)

■ 内科医のためのクリニカル・パール 2

〈座談会〉

これだけは伝えたい内科臨床の基本

……………藤田 芳郎・山中 克郎・

須藤 博・岡田 正人 1518(9)

〈救急〉

内科救急のクリニカル・パール

……………山田 直樹・林 寛之 1528(9)

〔心臓のこる症例〕知らないとき超難問、一度聞いておけば絶対に忘れない症例—キーワードは意識障害+高体温+頻脈+発汗……………岩田 充永 1534(9)

〈総合診療〉

総合診療のクリニカル・パール

……………北 和也・徳田 安春 1540(9)

〔心臓のこる症例〕意外な高アンモニア血症の原因

……………寺澤 佳洋・山中 克郎 1544(9)

〈感染症〉

感染症のクリニカル・パール……大曲 貴夫 1548(9)

〔心臓のこる症例〕追憶と学び……柳 秀高 1552(9)

〈血液・腫瘍〉

血液疾患のクリニカル・パール

……………神田 善伸 1556(9)

がん診療のクリニカル・パール

……………勝俣 範之 1560(9)

〔心臓のこる症例〕Tissue is issue! ~歴史に学ぶ~

……………白井 敬祐 1564(9)

〈呼吸器〉

呼吸器疾患のクリニカル・パール

……巽 浩一郎・坂尾誠一郎・寺田 二郎 1568(9)

〔心臓のこる症例〕呼吸器系全体の理解が重要であった症例……………陳 和夫 1572(9)

〈アレルギー・膠原病〉

アレルギー疾患のクリニカル・パール

……………森本 佳和 1576(9)

膠原病のクリニカル・パール……岡田 正人 1580(9)

関節リウマチのクリニカル・パール

……………岸本 暢将 1584(9)

〔心臓のこる症例〕いつもの症状と同じ?

……………金城 光代 1590(9)

〈神経〉

神経疾患のクリニカル・パール

……………濱田 潤一 1594(9)

脳卒中のクリニカル・パール

……………上原 敏志・豊田 一則 1598(9)

〔心臓のこる症例〕家族性の神経難病, conjugal ALS から……………成田 有吾 1602(9)

〈循環器〉

不整脈のクリニカル・パール……村川 裕二 1606(9)

虚血性心疾患のクリニカル・パール	前村 浩二 1610(9)
心不全のクリニカル・パール	佐藤 直樹 1614(9)
[心にのこる症例]IEは感染性の「心内膜炎」なのか？ それとも「弁膜症」なのか？	猪原 拓・江頭 徹・香坂 俊 1618(9)
〈消化器・肝胆膵〉	
消化器・肝胆膵疾患のクリニカル・パール	井出 広幸 1624(9)
[心にのこる症例]アルコール多飲患者の腹水をみたら？	野々垣浩二・小川 和昭・印牧 直人 1628(9)
〈内分泌〉	
内分泌疾患のクリニカル・パール	横田 健一・柴田 洋孝 1632(9)
[心にのこる症例]診断に大切なのは、注意深い診察と一般検査の適切な理解	吉岡 成人 1636(9)
〈腎臓・酸塩基平衡・水電解質〉	
腎疾患のクリニカル・パール	八田 告 1640(9)
酸塩基平衡・水電解質・輸液のクリニカル・パール	柴垣 有吾 1644(9)
[心にのこる症例]わずかなボタンの掛け違いの連鎖から不幸の転帰をとった急性大動脈解離の若年例	片渕 律子 1650(9)
〈臨床研究〉	
臨床研究のクリニカル・パール—抄録はあなたの頭のなかを映す鏡である	栗田 宜明・福原 俊一 1654(9)

■ 内分泌疾患に強くなる

〈座談会〉	
外来診療での内分泌疾患の見つけ方と対応	和田 典男・吉村 弘・大村 昌夫・芦原 順也 1712(10)
〈総論〉	
内分泌疾患はどのようにして見つかるか	和田 典男 1724(10)
内分泌疾患の診断におけるホルモン測定	清水 力 1728(10)
〈内分泌疾患の発見のきっかけとなる異常所見〉	
甲状腺腫	村上 司 1734(10)
甲状腺機能異常	紅粉 睦男 1738(10)
低ナトリウム血症	石川 三衛 1742(10)
低カリウム血症	羽毛田 公・相馬 正義 1746(10)
カルシウム・リン代謝異常	永井 聡 1750(10)
副腎偶発腫瘍	一城 貴政 1754(10)
〈専門医に学ぶ内分泌疾患の診断・治療〉	
【甲状腺疾患】	
Basedow 病	吉村 弘 1760(10)
甲状腺機能低下症	

……………大野 洋介・田中 祐司 1764(10)	
亜急性甲状腺炎	窪田 純久 1768(10)
甲状腺腫瘍	宮川めぐみ 1772(10)
【副甲状腺疾患】	
原発性副甲状腺機能亢進症	竹内 靖博 1778(10)
【下垂体疾患】	
先端巨大症(アクロメガリー)	桑原 智子・島津 章 1782(10)
Cushing 病	二川原 健・大門 眞・須田 俊宏 1788(10)
プロラクチノーマ	小野 昌美・関 康史・市原 淳弘 1792(10)
下垂体前葉機能低下症	大月 道夫 1797(10)
中枢性尿崩症	岩崎 泰正 1802(10)
【副腎疾患】	
Cushing 症候群・subclinical Cushing 症候群	大川 雄太・沖 隆 1806(10)
原発性アルドステロン症	大村 昌夫・齋藤 淳・西川 哲男 1812(10)
褐色細胞腫	田辺 晶代・市原 淳弘 1818(10)
副腎皮質機能低下症	明比 祐子・田邊真紀人・柳瀬 敏彦 1823(10)
【性腺疾患】	
男性性腺機能低下症	山崎 一恭・西山 博之・岩本 晃明 1828(10)
女性性腺機能低下症	千石 一雄・宮本 敏伸・大石由利子 1832(10)
〈内分泌エマージェンシーの診断・治療〉	
甲状腺クリーゼ	赤水 尚史 1836(10)
副腎クリーゼ	方波見卓行・天神 歩美・中村 祐太 1840(10)
〈トピックス〉	
福島原発事故と甲状腺疾患	山下 俊一 1844(10)
甲状腺疾患と妊娠	荒田 尚子 1848(10)

■ 新時代の肺炎診療

〈座談会〉	
肺炎診療の現場から	石田 直・高野 義久・高柳 昇・伊藤 功朗 1922(12)
〈肺炎の疫学〉	
わが国の肺炎の現況と今後	関 雅文・朝野 和典 1934(12)
〈市中肺炎(CAP)の診療〉	
プライマリケアにおける肺炎の診断—かぜ症候群との鑑別	松村 榮久 1938(12)
外来での市中肺炎の治療	中浜 力 1942(12)
肺炎診療における喀痰グラム染色	名倉 功二・藤本 卓司 1947(12)
心不全との鑑別	大西 勝也 1952(12)

市中肺炎の画像診断……………	一色 彩子	1958(12)
細菌性肺炎と非定型肺炎の鑑別 有用性と今後	……………宮下 修行	1968(12)
市中肺炎の入院治療……………	三木 誠	1972(12)
〈院内肺炎(HAP)の診療〉		
院内肺炎の治療方針……………	前田 光一	1978(12)
薬剤耐性菌による院内肺炎	……………水谷 哲・寺地つね子	1982(12)
人工呼吸器関連肺炎(VAP)の診断と治療	……………志馬 伸朗	1986(12)
〈医療・介護関連肺炎(NHCAP)の診療〉		
医療・介護関連肺炎(NHCAP)の概念	……………今村 圭文・河野 茂	1992(12)
医療・介護関連肺炎の臨床像……………	福山 一	1997(12)
医療・介護関連肺炎(NHCAP)の治療	……………橘 洋正・石田 直	2000(12)
高齢者施設での肺炎……………	丸山 貴也	2005(12)
訪問診療を受けている患者の肺炎	……………荒井 康之・太田 秀樹	2010(12)
〈特殊病態・特殊治療〉		
HIV/AIDS 患者における肺炎……………	柳澤 如樹	2014(12)
重症肺炎に対するステロイド療法	……………山田 悠史・藤谷 茂樹	2019(12)
重症肺炎に対する血液浄化法の適応と実際	……………池田 寿昭	2024(12)
重症肺炎に対する体外式膜型人工肺(ECMO)療法	……………杉田 慎二・小林 克也・竹田 晋浩	2028(12)
〈肺炎の予防〉		
肺炎球菌ワクチンの有用性……………	川上 健司	2032(12)
誤嚥性肺炎の予防……………	寺本 信嗣	2036(12)
〈肺炎診療のトピックス〉		
【診断におけるトピックス】		
菌叢解析による肺炎起炎菌の診断	……………川波 敏則	2042(12)
【治療におけるトピックス】		
重症肺炎におけるマクロライド併用療法	……………新里 敬・伊志嶺朝彦	2048(12)
【予防におけるトピックス】		
スタチンの肺炎予防効果	……………岩田 敦子・門田 淳一	2052(12)
■ 不整脈の診断と治療—ポイントをおさえよう		
〈座談会〉		
一般内科医・研修医に知ってもらいたい不整脈のエッセンス……………	山下 武志・山根 禎一・志賀 剛	2108(13)
〈不整脈の実態〉		
健康診断で見つかる不整脈	……………増田 慶太・西 裕太郎	2120(13)
不整脈の症状……………	川村祐一郎	2124(13)

不整脈の疫学……………	高橋 尚彦	2128(13)
〈不整脈の診断〉		
症状時の心電図をどのようにして記録するか?	……………笠巻 祐二・橋本 賢一・相馬 正義	2131(13)
12 誘導心電図による不整脈診断のこつ	……………安喰 恒輔	2136(13)
Holter 心電図の適応・判読のポイント	……………水牧 功一	2142(13)
運動負荷検査の適応と解釈	……………長嶋 淳三・松本 直樹	2146(13)
心室レートポテンシャル・T 波オルタナンス検査の適応と判読ポイント……………	池田 隆徳	2150(13)
失神患者で行うべき問診と検査	……………河野 律子・安部 治彦	2154(13)
Brugada 症候群で行うべき問診と検査	……………上野 亮・小林 義典	2158(13)
QT 延長・短縮症候群で行うべき問診と検査	……………清水 渉	2166(13)
〈不整脈の治療〉		
【まずはここから】		
不整脈治療の基本的考え方：予後と QOL	……………井上 博	2170(13)
抗不整脈薬より重要な薬物(1)		
一心不全における β 遮断薬・RAS 抑制薬と不整脈……………	祖父江嘉洋・渡邊 英一	2174(13)
抗不整脈薬より重要な薬物(2)		
一心房細動における抗凝固薬の使い方	……………奥山 裕司	2178(13)
抗不整脈薬の分類・使い方—何種類の薬を覚えればよいか……………	井原 健介・平尾 見三	2184(13)
【患者を前に】		
頻脈発作の患者が来院したら……………	大塚 崇之	2190(13)
心房細動に対する治療—薬物によるリズムコントロールとレートコントロールの実際	……………庭野 慎一	2194(13)
心房細動に対するカテーテルアブレーションの適応と実際……………	桑原 大志	2198(13)
心房粗動に対する治療……………	富田 威	2204(13)
上室頻拍の治療法……………	速水 紀幸	2208(13)
非持続性心室頻拍の治療適応と実際	……………清水 昭彦	2212(13)
基礎心疾患のない持続性心室頻拍の治療法	……………野上 昭彦	2216(13)
ICD の適応と植込みの実際	……………嵯峨亜希子・今井 靖	2222(13)
心室頻拍・細動頻発時の対処法	……………栗田 隆志	2228(13)
洞不全症候群・房室ブロックに対するペースメーカーの適応……………	石川 利之	2234(13)
〈不整脈診療の Tips〉		

抗不整脈薬による催不整脈作用
 網野 真理・吉岡公一郎 2240(13)
 不整脈患者に対する生活指導.....鈴木 信也 2246(13)
 老化・炎症と不整脈.....岩崎 雄樹 2250(13)

【顔を見て気づく内科疾患】

ヘリオトロープ疹、皮膚筋炎診断の鍵
石丸 裕康 1(1)
 蝶形紅斑：SLE 診断の鍵となるが、鑑別に注意
石丸 裕康 179(2)
 「顔がゆがむ・曲がる」顔面神経麻痺
石丸 裕康 363(3)
 耳介の発赤：丹毒 vs 再発性多発軟骨炎
石丸 裕康 567(4)
 開口障害：破傷風.....石丸 裕康 751(5)
 首が曲がって動かさない：薬剤性急性ジストニア
石丸 裕康 931(6)
 耳の霜焼け：全身性エリテマトーデス
石丸 裕康 1129(7)
 口周囲放射状の皸・舌小帯の短縮：全身性强皮症
石丸 裕康 1313(8)
 仮面様顔貌：Parkinson 病.....石丸 裕康 1509(9)
 眼球突出一両側 vs 片側.....石丸 裕康 1703(10)
 顎下腺腫脹：Mikulicz 病.....石丸 裕康 1913(12)
 顔面に広がる水疱：カボジ水痘様発疹症
石丸 裕康 2099(13)

【実は日本生まれの発見】

カラードプラ法 発明・開発の経緯
伊東 紘一 3(1)
 パルスオキシメータ.....桑平 一郎 181(2)
 IgG4 関連疾患—21 世紀に(日本で)確立された新たな
 疾患概念.....梅原 久範 365(3)
 フェブキソスタット—四〇年ぶりの尿酸低下薬
近藤 史郎 569(4)
 タクロリムス—日本で生まれた免疫抑制剤
横川 直人 753(5)
 ジルチアゼム.....村川 裕二 933(6)
 ANP, BNP 日本が誇る世界をリードしてきたテーマ
水野 雄二 1131(7)
 腸炎ビブリオ.....柳原 格・本田 武司 1315(8)
 レボフロキサシン.....二木 芳人 1511(9)
 インターロイキン 6
田中 敏郎・熊ノ郷 淳 1705(10)
 スタチン.....伊藤公美恵・多田 紀夫 1915(12)
 アディポネクチン—内臓脂肪症候群のキー分子
船橋 徹 2101(13)

【目でみるトレーニング】

問題 682新井 修 150(1)

683榎林 朋子 151(1)
 684川瀬 共治 152(1)
 685入交 重雄 342(2)
 686三浦 修平 343(2)
 687明寄 太一 344(2)
 688鳥飼 圭人 526(3)
 689川瀬 共治 527(3)
 690高田 和生 528(3)
 691上村 剛大 718(4)
 692明寄 太一 719(4)
 693三浦 修平 720(4)
 694鳥飼 圭人 908(5)
 695宇根 一暢 909(5)
 696野田 章子・見坂 恒明 910(5)
 697上村 剛大 1104(6)
 698角谷 真人・尾上 祐行 1105(6)
 699三浦 修平 1106(6)
 700神田 周平 1284(7)
 701宇根 一暢 1285(7)
 702中村 彰宏・石田 素子 1286(7)
 703矢島 隆二・西澤 正豊 1490(8)
 704上村 剛大 1491(8)
 705西 和男 1492(8)
 706宇根 一暢 1677(9)
 707鳥居 孝子 1678(9)
 708中村 彰宏・石田 素子 1679(9)
 709隈部 綾子・見坂 恒明 1862(10)
 710藤田 映輝 1863(10)
 711稲葉 芳絵 1864(10)
 712中村 彰宏・石田 素子 2078(12)
 713森 茂生 2079(12)
 714中村 造 2080(12)
 715藤田 映輝 2260(13)
 716渡邊 梨里 2261(13)
 717板本智恵子 2262(13)

【皮膚科×アレルギー膠原病科 合同カンファレンス】

関節炎を伴った紫斑
岡田 正人・衛藤 光 156(1)
 運動後の筋肉痛と皮膚硬化
岡田 正人・衛藤 光 348(2)
 SLE における水疱病変
岡田 正人・衛藤 光 534(3)
 急速進行性の全身性皮疹
岡田 正人・衛藤 光 724(4)
 混合性結合組織病(MCTD)患者の皮疹と蛋白尿
岡田 正人・衛藤 光 894(5)
 健診でアミラーゼ高値を指摘された 35 歳女性の
 不明熱.....岡田 正人・衛藤 光 1110(6)
 治療中断後に再燃した SLE

……………岡田 正人・衛藤 光	1278(7)
むち打ち様紅斑と発熱	
……………岡田 正人・衛藤 光	1484(8)
悪性腫瘍に伴った皮疹	
……………岡田 正人・衛藤 光	1672(9)
SLE 患者の顔面皮膚症状	
……………岡田 正人・衛藤 光	1886(10)
高安病に伴った有痛性紅斑	
……………岡田 正人・衛藤 光	2060(12)
6 年ぶりの脳梗塞	
……………岡田 正人・衛藤 光	2281(13)

【依頼理由別に考える心臓超音波検査 とりあえずエコーの一步先へ】

依頼理由 その 2 心雑音—その原因はなんですか (収縮期雑音篇 1)	
……………鶴田ひかる・香坂 俊	164(1)
依頼理由 その 3 心雑音—その原因はなんですか (収縮期雑音篇 2)	
……………鶴田ひかる・香坂 俊	518(3)
依頼理由 その 4 心雑音—その原因はなんですか— 〔拡張期雑音篇—大動脈弁閉鎖不全(AR)〕	
……………鶴田ひかる・香坂 俊	900(5)
依頼理由 その 5 心雑音—その原因はなんですか— 〔拡張期雑音篇 2—僧帽弁狭窄症(MS)〕	
……………鶴田ひかる・香坂 俊	1271(7)
依頼理由 その 6 心雑音—その原因はなんですか— (連続性雑音篇)	
……………鶴田ひかる・香坂 俊	1875(10)
依頼理由 その 7 胸痛—「狭心症疑い, 心機能評価 お願いします」の矛盾—	
……………鶴田ひかる・香坂 俊	2274(13)

【こんなときどうする？

内科医のためのリハビリテーションセミナー】

心臓②心不全……………森 信芳・上月 正博	170(1)
肝臓疾患……………伊藤 修・上月 正博	338(2)
糖尿病・重度肥満	
……………原田 卓・上月 正博	544(3)
慢性腎臓病(CKD)	
……………伊藤 修・上月 正博	730(4)
リハで移植を回避できる！……………上月 正博	890(5)
内科疾患のリハ(総括)：寿命も延ばせる！	
……………上月 正博	1098(6)

【SCOPE】

内科本道への回帰……………上野 文昭	146(1)
タコツボ心筋症について	
……………佐藤 光・廣常 信之・本藤 達也	548(3)
『medicina』創刊 50 周年記念セミナー	

「最後はやっぱり身体診察」……………須藤 博	1868(10)
------------------------	----------

【REVIEW & PREVIEW】

Guillain-Barré 症候群	
……………駒ヶ嶺朋子・鯉渕 桂・結城 伸泰	160(1)
NAFLD/NASH の診断と治療	
……………児玉 和久・徳重 克年・橋本 悦子	335(2)
悪性腫瘍に対する分子標的治療	
……………中村 朝美・木村 晋也	540(3)
抗 NMDA 受容体脳炎……………飯塚 高浩	734(4)
肺高血圧症診療の進歩	
……………宮川 一也・江本 憲昭	916(5)
大腸癌患者へのアスピリン投与の効果	
……………川上 浩司	1116(6)
Crohn 病に対する生物学的製剤治療の進歩	
……………鈴木 康夫	1294(7)
大腸 3D-CT(仮想大腸内視鏡)—大腸がんとガラバゴ スシンドローム	
……………永田 浩一・松本 啓志・野崎 良一	1683(9)
抗うつ薬の使い方に警鐘を鳴らす	
……………宮岡 等	1898(10)
睡眠障害と生活習慣病……………橋爪 祐二	2084(12)
IgG4 関連疾患……………浜野 英明	2289(13)

【神経診察の思考プロセス 一般内科外来のカルテから】

妊娠中の頭痛患者……………大生 定義	714(4)
体重減少が主訴の 70 歳女性……………大生 定義	885(5)
急に起こっためまい 2 例……………大生 定義	1094(6)
変動する反応……………大生 定義	1290(7)
複視……………大生 定義	1474(8)
ろれつがうまく回らない……………大生 定義	1668(9)
血圧が下がり, 不安定になった	
……………大生 定義	1858(10)
急な右腕の麻痺脳卒中?……………大生 定義	2065(12)
記憶障害の 2 例……………大生 定義	2266(13)

【睡眠時無呼吸症診療の最前線】

SAS における性差……………成井 浩司・他	1298(7)
SAS に対する口腔内装置治療	
……………成井 浩司・他	1478(8)
循環器疾患と SAS ①……………成井 浩司・他	1688(9)
循環器疾患と SAS ②……………成井 浩司・他	1891(10)
呼吸器疾患と NPPV……………成井 浩司・他	2074(12)
SAS 診療システムと CPAP 治療最前線	
……………成井 浩司・他	2286(13)

【Step up 腹痛診察】

55 歳女性 間欠的な腹痛, 便秘	
……………小林 健二	1664(9)

71 歳女性 左下腹部痛……………	小林 健二	1882(10)
48 歳男性, 心窩部痛……………	小林 健二	2070(12)
38 歳男性, 右下腹部痛, 発熱……………	小林 健二	2270(13)

【内科診療にガイドラインを生かす(増刊号)】

■ 総論

診療ガイドラインの正しい理解	……………中山 健夫	8(11)
診療ガイドラインの作り方……………	吉田 雅博	12(11)
エビデンスとコンセンサス……………	野口 善令	18(11)
診療ガイドラインの評価方法	……………東 尚弘・中村 文明	21(11)
診療ガイドラインに対する誤解と偏見	……………上野 文昭	24(11)

■ 循環器疾患

高血圧……………	上竹勇三郎・下澤 達雄	28(11)
狭心症……………	海北 幸一・小川 久雄	34(11)
心筋梗塞……………	郷原 正臣・木村 一雄	40(11)
不整脈……………	高橋 尚彦	45(11)
心不全……………	猪又 孝元	50(11)
抗凝固・抗血小板療法……………	矢坂 正弘	55(11)
大動脈瘤・大動脈解離	……………村井 亮介・加地修一郎	60(11)
末梢動脈閉塞性疾患……………	松尾 汎	66(11)
感染性心内膜炎……………	赤石 誠	74(11)
肺高血圧症……………	中西 宣文	81(11)
禁煙……………	野田 慶太・朔 啓二郎	86(11)
失神……………	水牧 功一	92(11)

■ 呼吸器疾患

咳嗽……………	新実 彰男	98(11)
肺炎(市中肺炎, 院内肺炎, 医療・介護関連肺炎)	……………朝野 和典	104(11)
肺癌……………	林 秀敏・中川 和彦	109(11)
気管支喘息……………	大田 健	113(11)
COPD……………	一ノ瀬正和	118(11)
特発性間質性肺炎(IIPs)……………	井上 義一	124(11)
肺血栓塞栓症……………	加藤 史照・巽 浩一郎	130(11)
薬剤性肺障害……………	花岡 正幸	136(11)
酸素療法……………	植木 純	142(11)
在宅呼吸ケア……………	服部久弥子・木田 厚瑞	146(11)
睡眠呼吸障害……………	赤柴 恒人	152(11)

■ 消化器疾患

胃食道逆流症……………	神谷 武	160(11)
消化性潰瘍……………	東 健	165(11)
潰瘍性大腸炎……………	小林 健二	172(11)
Crohn 病……………	松岡 克善・金井 隆典	178(11)

過敏性腸症候群……………	永田 博司	181(11)
急性膵炎……………	川口 義明	186(11)
慢性膵炎……………	片岡 慶正	191(11)
胆石症……………	田妻 進	198(11)
胆炎・胆管炎	……………甲斐 真弘・藤井 義郎・千々岩一男	206(11)
C 型慢性肝炎……………	藤永 秀剛・四柳 宏	211(11)
B 型慢性肝炎……………	藤永 秀剛・四柳 宏	214(11)
自己免疫性肝炎……………	森實 敏夫	218(11)
肝硬変……………	福井 博	223(11)

■ 腎・泌尿器疾患

急性腎障害(AKI)	……………佐々木 彰・河原崎宏雄	230(11)
慢性腎臓病(CKD)……………	今井 圓裕	238(11)
ネフローゼ症候群	……………大塚 康洋・両角 國男	245(11)
IgA 腎症……………	川村 哲也	250(11)
腎癌……………	佐々 直人・山本 徳則	256(11)

■ 神経・精神疾患

細菌性髄膜炎……………	佐久嶋 研・佐々木秀直	262(11)
認知症……………	東海林幹夫	268(11)
Parkinson 病……………	田代 淳・菊地 誠志	276(11)
慢性頭痛……………	竹島多賀夫	283(11)
脳卒中	……………橋本洋一郎・菅 智宏・伊藤 康幸	290(11)
うつ病……………	宮岡 等	296(11)

■ 血液疾患

貧血	……………生田 克哉・伊藤 巧・高後 裕	300(11)
播種性血管内凝固(DIC)	……………和田 英夫・松本 剛史	304(11)
特発性血小板減少性紫斑病(ITP)	……………富山 佳昭	310(11)
多発性骨髄腫……………	河村 浩二・神田 善伸	315(11)

■ 代謝・内分泌疾患

糖尿病……………	三松 貴子・柴 輝男	322(11)
糖尿病合併症……………	北田 宗弘・古家 大祐	330(11)
脂質異常症……………	木下 誠	336(11)
高尿酸血症・痛風……………	山中 寿	342(11)
骨粗鬆症……………	細井 孝之	350(11)
甲状腺機能亢進症……………	吉村 弘	354(11)

■ リウマチ・膠原病

関節リウマチ……………	野村 篤史・藤田 芳郎	362(11)
全身性強皮症……………	竹原 和彦	370(11)
全身性エリテマトーデス		

…………… 関 治先・岡田 正人	374(11)
線維筋痛症…………… 岡 寛	381(11)
Sjögren 症候群…………… 中西 研輔・金城 光代	386(11)
多発性筋炎・皮膚筋炎…………… 高田 和生	392(11)
血管炎症候群…………… 押川 英仁・松井 和生	398(11)
Behçet 病…………… 陶山 恭博・岸本 暢将	404(11)

■ アレルギー

花粉症…………… 森本 佳和	414(11)
アレルギー性鼻炎 …………… 陶山 恭博・岡田 正人	419(11)

■ 感染症

インフルエンザ…………… 今泉 貴広・藤田 芳郎	424(11)
副鼻腔炎…………… 相澤 悠太・齋藤 昭彦	430(11)
咽頭炎…………… 廣瀧慎太郎・堀越 裕歩	436(11)
カンジダ感染症…………… 本田 仁	440(11)
HIV 感染症…………… 菅沼 明彦	446(11)
MRSA 感染症…………… 椎木 創一	452(11)
<i>H.pylori</i> 感染症…………… 山田 航希・本郷 偉元	457(11)

■ 救急

成人の一次救命処置(BLS)の指針	
-------------------	--

…………… 田口 瑞希・山中 克郎	464(11)
成人の二次救命処置(ALS)の指針 …………… 山口つかさ・林 寛之	470(11)
外傷初期診療ガイドライン…………… 今 明秀	475(11)

■ がん検診

消化器領域…………… 斎藤 博	480(11)
その他の領域…………… 祖父江友孝	488(11)

■ 皮膚

アトピー性皮膚炎…………… 山本 洋介	494(11)
蕁麻疹…………… 秀 道広	500(11)
褥瘡…………… 立花 隆夫	506(11)
疥癬…………… 和田 康夫	511(11)

■ 緩和ケア

がん疼痛…………… 新城 拓也・的場 元弘	516(11)
がんに伴う嘔気・嘔吐 …………… 沖田 憲司・古畑 智久・平田 公一	522(11)
苦痛緩和のための鎮静…………… 森田 達也	527(11)